

市内のできごとを写真入りでお知らせします

まちのできごと



「どんな仕事をしているの？」

市内8校の小学生が市役所見学

市内8校の小学3年生が5月12日から6月17日にかけて、市役所を見学しました。「市役所ってどんな仕事をしているの」という子どもたちの疑問から、社会科授業の一環として毎年行われているものです。子どもたちは、職員の説明を聞きながら一生懸命メモを取り、「市長ってどんな仕事をしているの?」「この部屋で何をやるの?」など質問をしていました。



多彩なあやめの花が1万5000株

第26回あやめまつり

第26回あやめまつりが6月7日から21日、水生植物園で開催されました。期間中、園内では1万5000株におよぶ紫・白・黄色の多彩なあやめの花が咲き誇っていました。6月13日には水生植物園と手賀沼公園の2会場でイベントが催され、和太鼓・ミニSLや両会場を結ぶ水上シャトル船も運航され、多くの人たちが楽しみました。



ごみのないきれいな街に

市内各地でゴミゼロ運動

ごみのないきれいな街にしようと5月31日、ゴミゼロ運動が市内各地で行われました。今年は、自治会やスポーツ少年団、環境美化推進員、不法投棄監視員など計137団体、1万2286人が参加。道路脇の空き缶やごみ拾いなどに汗を流し、この日だけで可燃ごみ2万7010kg・不燃ごみ3150kg・計3万160kgのごみが回収されました。



第2回あびこカップまつり



— 出演団体・出店者 —

あびこカップまつり実行委員会では、第2回「あびこカップまつり」を開催します。また現在、まつりでかっぱ音頭を踊っていただける団体、かっぱの衣装をして踊っていただける団体、出店していただける事業者を募集中です。衣装かっぱ音頭では衣装大賞を決定して表彰、自転車レース(ヒルクライム)では賞品・参加賞が用意されていますので、ぜひご参加ください。

日程 8月29日(土) ※荒天の場合30日(日)に順延(30日以降は中止)

時間・場所・募集内容・費用など 下表参照

申込方法 電話 締切日 8月7日(金)

申・問 あびこカップまつり実行委員会事務局 ☎090-6106-3889

*実行委員会では「あびこカップまつり」でのボランティアを募集しています。

募集内容	開催時間	場所	募集対象・費用	説明会
①かっぱ音頭大行進・衣装大行進	午後5時～7時30分	公園坂通り・手賀沼公園	市内で活動している団体・グループ〈無料〉	8月8日(出午後) 3時30分～
②出店	午前10時～午後8時	我孫子駅南口駅前周辺	市内商業者・市民活動団体、先着40店(2000円〈出店料〉)	8月8日(出午後) 2時～
③ヒルクライム	午後2時30分～5時	公園坂通り※手賀沼公園集合。	幼稚園児10人、小学生90人(先着)※保護者同伴、自転車持参。〈無料〉	当日

※①、②の説明会はけやきプラザ9階ホールで開催します。

第12回我孫子国際野外美術展



— 市民オーナー、サポーター、一般作品制作者 —

ここちよい自然の中で、一緒に美術展を楽しみませんか。現在、市民オーナー、サポーター、一般制作者を募集中です。

期間 10月17日(土)～11月15日(日)

※前半の2週間は宿泊をしながらの制作期間。11月1日～15日は作品展示

場所 布佐市民の森・相島の森・布佐のまち周辺

募集内容 ①市民オーナー：野外美術展を資金的に支えてくださる方。1口2000円のオーナーチケットを購入してオーナーになっていただきます。郵便局での振り込みも可

②サポーター：運営・広報・会場案内・作品づくりや食事づくりのお手伝い・外国人アーティストのお世話など

③一般作品制作者：自然の中で自分を表現してみませんか

◎作品プレゼン公開シンポジウム(作品制作者によるアイデア発表)

日時・場所 8月9日(日)午後1時～5時(出入り自由)、近隣センターふさの風

申・問 吉藤 ☎7189-3685



あびこ 植物図鑑

ブタナ

(豚菜)

きく科

No.263



文・写真 佐久間 俊行

六月の半ばに手賀沼の遊歩道を歩くと、岡発戸新田でブタナが黄色い花をつけていました。

この草はヨーロッパ原産の多年草で、日本には昭和のはじめに入ったといわれます。葉は根もとから出て地面に広がる、地上へ伸びた緑色の茎は一〜三個、枝分れして見えますが、多くの小花が集まったものです。

この小花の群れを取り巻く総苞片をルーペで覗くと、総苞片の背面に白色の毛が一列に並んでいるのが見えます。また根もとの葉の縁にも、白い毛があり、刺が生えたような形をしています。

六月の半ばに手賀沼の遊歩道を歩くと、岡発戸新田でブタナが黄色い花をつけていました。

この草はヨーロッパ原産の多年草で、日本には昭和のはじめに入ったといわれます。葉は根もとから出て地面に広がる、地上へ伸びた緑色の茎は一〜三個、枝分れして見えますが、多くの小花が集まったものです。

この小花の群れを取り巻く総苞片をルーペで覗くと、総苞片の背面に白色の毛が一列に並んでいるのが見えます。また根もとの葉の縁にも、白い毛があり、刺が生えたような形をしています。

俳句の部 染谷卓選

園児らの声の溢るる梅雨晴れ間 松村 君代

【評】梅雨どきで毎日外で遊べない園児たち。今日は久々の晴天、園庭に子らの声が弾むのだ。日心を捨てて一刻も早く壁谷千鶴子

【評】常日頃から殺生を戒めていても、害虫もなれば、仏心を捨てて焼き殺すこともあるのだ。

短夜や宇宙飛行士いつ眠る 壁谷千鶴子

暮鳴けり諸行無常のひびきとも 洪谷多佳子

通せん坊され夢覚むる昼寝かな 青山 陽子

足奏えにケルン積みしを懐かしむ 吉田 冬径

群れて佳し一花更なり花菖蒲 川上 進也

南吹くや見えかくれて鳴どり 岡本 邦男

町田 進

皆さんからの投稿をお待ちしています。締め切りは、毎月20日必着。ハガキで1人1作に限ります。投稿された作品は、選者により添削する場合がありますのでご了承ください。※「青少年(18歳以下)の部」は別枠で掲載しますので、必ず年齢を明記してください。応募先 〒270-1192市役所秘書広報課(住所省略可) ※氏名にはふりがなを記載してください。

短歌の部 神原敦子選

「年甲斐も無い」とふ言葉いとほしみ今後も生きむ心向くまま 海老塚恵美子

【評】常識とは深く思考すれば脆いもの。私には私の真実があつてよい。

季はづれの綿入半纏ぬぎすてて萌黄のシャツのそら豆いで来

【評】夏場まで綿入れを着ているのは蚕豆ばかり、と。自在な見立が光る。

スパーのエントランスに竹たちて知らない同士の短冊ゆれ合ふ 渡辺 詔子

むらさきの檜の花咲く菩提寺に百八十七センチは祖母負ひ行けり 木崎 洋子

働くに地暮れ易し うす青の空と溶けあふ淡紅色の雲 本田 幸子

検査終へ深呼吸してMRIの台よりわれは帰還なしたり 新藤 道子

汗あえて電車に乗れば冷房の寒さに肩の震へとまらず 吉田 皓亮

清き水するが如く缶酒に今日一日を終へる人あり